

座長：田島清司(九歯大・歯理工)

12 9:00 電解中性水の歯科臨床への応用
第3報 印象用トレーの消毒○永松有紀¹・陳克恭²・田島清司¹・柿川宏¹・小園凱夫¹
¹九歯大・歯理工, ²九歯大・保存1

優れた殺菌効果を瞬時に示す電解酸性水は、歯科臨床で幅広く用いられるようになり、近年、酸による金属腐食、塩素臭、保存性の低さを改善した電解中性水も開発された。前報において、電解中性水は歯科用バーに対して電解酸性水と同様に、わずか1分間の超音波洗浄処理により殺菌可能なこと、電解酸性水よりも腐食の程度は小さく、水道水と大きな違いはみられず、歯科用バーの消毒を行う電解水として最適であることを明らかにした。本研究では、唾液等により汚染される金属製トレーについて、電解中性水による消毒効果と浸漬による腐食挙動を調べて、強および弱電解酸性水と比較した。いずれの電解水もわずか1分間の浸漬処理により残存菌は検出されなかった。浸漬試験の結果、アルマイトあるいは樹脂加工トレーではいずれの電解水でも変化はみられなかったが、錫合金、アルミニウムおよびステンレス製トレーでは、強電解酸性水における変色・腐食が著しかった。一方、電解中性水では水道水での処理とほとんど差はみられず、金属腐食への影響が最小の電解水であることが示唆された。

13 9:10 CO₂レーザーを用いた根尖切除掻爬術○榎原正人¹・榎原絵里²・陳克恭³・小園凱夫¹
¹九歯大・歯理工, ²九歯大・補綴1, ³九歯大・保存1

レーザー治療は、出血が少ないこと、疼痛が軽減されること、早期治癒が期待されること、などの特長から、患者の負担を著しく軽減するとともに、画期的な治療効果をもたらしている。

根尖部に生じた病巣に対しては、これまで根管処置で治療が行われることが多かったが、長時間を必要とし、完全な治癒を望むことは困難であった。そのため、現在では根尖切除掻爬術が行われている。しかし、術野の出血が多く、病巣を取り残す症例も多く、長期間にわたって骨の再生が見られないという問題が指摘されている。今回、CO₂レーザーを使用した根尖切除掻爬術を行い、良好な結果が得られたので報告する。レーザーの特徴である止血効果により手術野を明示できるため、確実に病巣を除去でき、しかも創部の治癒促進効果が得られるばかりでなく、根尖病巣周囲の骨再生が促進されるという結果が得られた。術式も簡単で、日常の臨床に十分応用できると考えられる。